

支援学校にだけ設置基準がない!? 差別しないで!!

支援学校の建設と設置基準策定を求める学習会

府立支援学校に通う児童生徒数が増え続け、過密・過大や長時間通学はもう限界です。大阪府教育庁は国の教室不足調査(H28)に対して「不足教室0」と報告し、学校建設は一番後回しにしようとしています。そして、ついに2020年度から居住地や福祉圏域を飛び越えた通学区域割を策定し、子どもたちや家族に大きな不安を与え、更なる犠牲を強いようとしています。

こんな人権侵害がまかり通っている背景には、幼・小・中・高校・大学には学校教育法通りに“設置基準”があるのに、国が特別支援学校にだけ作らないまま放置しているからです。これが一番の問題です。

また、設置基準の策定を求める国会請願署名や学校増設を求める府議会請願が不採択にされるなど、府民や国民のねがいに背を向ける冷たい議会や政治の対応にも問題があります。

各学校・地域から生の声を出し合いみんなで共有しましょう。改めて私たちの要求の正しさや根本にある設置基準の問題を学び合い確信にしましょう。大阪府交渉や国会請願署名を成功させましょう。

日時：6月15日(土)
午前11時～12時30分
会場：大阪市立社会福祉センター 3階3・4号室
(地下鉄「谷町9丁目」下車徒歩7分、近鉄「上本町」下車徒歩5分)
参加：無料、申し込み・問い合わせ、☎06-6765-8904

**総理・文科大臣相手に迫真の国会質問＝
山下よしき参議院議員が特別報告。**

(内 容)

- 各学校・地域の生徒・保護者・教職員・関係者からの訴え
北摂、北河内、中河内・東大阪、南河内、堺・泉州、大阪市など
- ミニ学習会
これからの運動についての提案 よくする会事務局長
支援学校増設のねがいと大阪府政・府議会の現状 石川たえ氏
支援学校の実態視察と国会報告 参議院議員 山下よしき氏
質疑応答
- 「つどい」宣言採択

主催：大阪障害児教育運動連絡会(6者懇)

(大阪の障害児教育をよくする会、障害(児)者を守る全大阪連絡協議会(障連協)、大阪障害児・者を守る会、全国障害者問題研究会大阪支部、大阪府立障害児学校教職員組合、大阪教職員組合障害児教育部) 連絡先：06-6765-8904(大障教)

